

# 進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様をマップに掲載していく形でご紹介します！



**eco café MINT**  
 社会福祉法人じりつが運営するカフェMINTは、地域のつながり拠点として、イベントや情報発信も行っています。木材をふんだんに使った内装や家具は、日本工業大学建築学部の学生がデザイン制作したものです。



- 町外の皆様**
- ・(株)彩和とらすとサービス(白岡市小久喜)
  - ・杉戸町障がい者支援センター(杉戸町清地)
  - ・日の出(幸手市中)
  - ・(株)あおば保険事務所(春日部市中央)
  - ・白田陽介税理士事務所(久喜市久喜東)
  - ・CAFE パロキア(久喜市善満町)
  - ・入間市文化創造アトリエ AMIGO!(入間市仏子)
  - ・象設計集団 東京事務所(東京都狛江市)

- 配布などでご協力いただいている方々**
- ・ふれあいクラブ(宮代町宮代台)
  - ・～語りと和楽の芸人衆～ かたりと(東京都北区)

**■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！(50音順)**

- |          |         |             |           |          |
|----------|---------|-------------|-----------|----------|
| ・内野      | ・新中町会   | ・中須地区       | ・宮代学園台自治会 | ・和戸3丁目   |
| ・笠原2丁目町会 | ・新道三区町会 | ・中寺地区自治会    | ・宮代台自治会   | ・和戸4丁目1区 |
| ・川端一区自治会 | ・新道第一町会 | ・東桑原自治会第1地区 | ・桃山台自治会   | ・和戸4丁目2区 |
| ・川端二区自治会 | ・新道第二町会 | ・東桑原自治会第2地区 | ・山崎       | ・和戸5丁目地区 |
| ・川端三区自治会 | ・辰新田町内会 | ・姫川二区自治会    | ・袖の木二区自治会 |          |
| ・国納北     | ・中央第1町会 | ・藤曽根地区      | ・和戸1丁目町内会 |          |
| ・国納南     | ・中央第2町会 | ・宮代1丁目1町会   | ・和戸2丁目1   |          |
| ・逆井地区    | ・道佛1区   | ・宮代1丁目第2町会  | ・和戸2丁目2区  |          |



Community Center Shinsyukan

# 進修館だより



## ■ キャンドルナイトについて話し合おう！



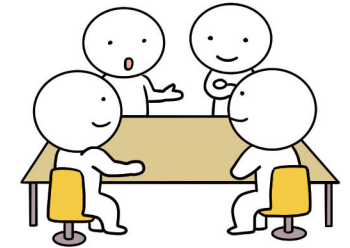
冬の進修館の風物詩となっているキャンドルナイト。この催しは、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを大切にし、みんなが主役となる地域社会をつくるという障がい者福祉のメッセージを込めて、社会福祉法人じりつが主催しています。



開催にあたっては障がい当事者のメンバーも実行委員会に加わって企画・運営をし、地域社会とのつながりづくりを図っています。

この度は地域の方との更なるつながりづくりを目的にキャンドルナイト in 進修館 2022 の開催について話し合う場を、進修館オープンカレッジで設けます。

**■ 進修館オープンカレッジ「キャンドルナイトについて話し合おう！」第1回**



日時：2022年10月20日(木) 16:30～17:30  
 場所：研修室  
 対象：どなたでも参加可。(参加無料、定員20名程度)  
 申込み：進修館1階受付  
 ☎ 0480-33-3846 ✉ koryu@shinsyukan.or.jp

※当テーマでの開催は全5回の開催を予定しています。第2回以降の開催日程については、進修館ホームページ等で告知いたします。

進修館だより 2022年10月号(第19号) 第1版：2022/10/24 発行  
 発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館  
 (指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター)  
 住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846  
 URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp

# 進修館芝生広場の木橋をみんなで修繕しよう！

進修館が建てられた当初、現在芝生広場が広がる場所には宮代町役場の旧庁舎がありました。庁舎の移転に伴い、2008年にすり鉢状の芝生広場が誕生しました。進修館のデザインの基点となる「世界の中心」を表現しているこの芝生広場。体操をする人、かけまわる子どもたち、のんびり腰掛けて談笑する人など、様々な人が日常的にのんびりと利用しています。そんな風景のひとつとして、コロネードにつながる木橋があります。写真撮影などでも人気のあるスポットですが、劣化が進み、傷みが目立ち始めています。いつまでもこの風景を大切にするために、木橋の塗装を楽しみながら一緒にやったださる方を募集します！



対象：どなたでも

※ 小学生以下の参加には保護者の方が同伴してください。

参加費：無料

持ち物：軍手、昼食・飲み物は各自持参

※ ベンキを使うため、汚れてもいい服装でお越しください。

定員：各回20名程度

申込み：進修館1階受付

☎ 0480-33-3846

✉ mail@shinsyukan.or.jp

開催日	開催時間	タイトル	内容
10月22日 土	9:00~15:00	木橋修繕ワークショップ①	・ツタ残留物など汚れの除去 ・塗装作業の前準備として、床板取り外し、洗浄
10月29日 土	9:00~15:00	木橋修繕ワークショップ②	・床板の塗装 ・柱支柱部分の塗装
11月5日 土	9:00~15:00	木橋修繕ワークショップ③	・塗装済み床板の組立 ・コンクリートの剥がれ部分の簡易補修（田中研究室）

## ちよこっとコラム

この度、毎月発行されてる進修館だよりに記事を掲載させて頂く事になりました、株式会社セキ薬品 広報担当です。

弊社は宮代町に1973年12月に創業し、地域の皆様のおかげをもちまして、2023年創業50周年を迎える事となりました。地域に皆様のお役に立つ情報（健康、美容、予防、介護等）を来月よりお伝え出来れば幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様からお寄せいただいたコラムをご紹介します。



1973年当時（1号店 杉戸駅前店）

社名：株式会社 セキ薬品  
住所：宮代町百間4-2-22  
代表取締役会長 関 伸治  
代表取締役社長 関 善夫  
（会長・社長は、宮代町出身）



埼玉県を中心に、ドラッグストア203店舗 調剤薬局74店舗を展開中！



# 皆様からの声をお届け！

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様の声をお届けするコーナーです。

交差点を挟んで、進修館の斜め向かいに事務所がある「社会福祉法人じりつ」は、精神障害をもつ方の自立支援を行っています。また、宮代町の冬の風物詩「キャンドルナイトin進修館」を主催している団体でもあります。今回は、キャンドルナイトの実行委員長も務める、じりつ職員 國枝駿太さんにお話を伺いました。

## 質問1 「國枝さんから見た進修館の印象は？」

- ・これだけオシャレな家具があって、外観もすばらしいので、美術館か図書館なのかと思った。初めて見たときは公共施設だと思わなかった。誰もが使いたいと思った時に訪れることができる場所だ、と知ったこともあり、何かしら宮代で活動するときの活動拠点という印象が変わった。
- ・じりつの活動で施設内に入るまでは、利用するのが難しそう印象はあったが、中に入って良さがわかった。自由に使えるのだということが分かってからは、個人的な勉強会などでも使用している。和室で胡坐をかいながら話すと、普通の会議室では出てこない様々な話題が出て話が弾んでくる。会議室感がないのはキーだと思う。四角い部屋と違い、ちょっと視線を外しても必ず見るところがあるというか。とても話がしやすい。
- ・イベントをやる人も、そうではないひとも、地域の人が気軽に立ち寄れるのが進修館のよさであり強みだと思う。



人の役に立つ仕事に就きたいと思い、福祉の世界に入ったという國枝さん。高校生まではサッカー一筋だったそうです。スポーツに夢中になった経験が、ひたむきに仕事と向き合う現在の姿勢に通じているようです。

## 質問2 「今後の進修館に、どのようなことを期待しますか？」

- ・施設・設備の様子は発信されているが、使われ方の情報は少ないように思う。利用する側の立場として、どんな人が参加しているのか、施設をどんな使い方をしているのか？等を知りたいと思う。
- ・障がいを持っている人の場合、施設を利用したくても、実際にどのように使えばいいのかわからない人もいます。例えば、利用に必要な書類、終わる時に整えておく箇所、電気は消しておいてほしい、など、やるべき流れや段取りがわかりやすいといい。
- ・中で何が行われているかがわかりにくい、といわれるが、施設を使う人や催しに参加したい人にとっての情報、例えば開催内容のチラシなどがあればよいかと思う。逆に言うと、中でにぎやかにイベントが開かれていても、外からわからないような、そんなギャップが、進修館のよさでもあると思う。



國枝さんにとって社会福祉法人じりつとの出会いは、大学の実習とのことメンバー（障がい者）が、法人が運営するカフェなどで、自分たちの役割を持って主体的に活動している姿を目の当たりにし、「障がい者は支えるものだ」という、それまで持っていた福祉へのイメージが変わったそう。

「進修館の中でお気に入りの場所は？」と聞くと「四季の丘（芝生広場）です！」と即答した國枝さん。やはり、キャンドルナイトの会場ですからね。実行委員長3年目の今年は、多くの方々と話をするを目標として「進修館オープンカレッジ」を活用することにしました。

國枝さん曰く、オープンカレッジでは、関わる方々が自分と違う価値観の人と触れ合うことを通じて、それぞれの違いを受け止める機会にしたいとのこと。またキャンドルナイト当日は、相手への思いやりや周囲への感謝を、その日のその時間だけでも考えられるようにしたい、と話してくださいました。ちなみにご自身は、毎年キャンドルナイトが終わると燃え尽きてしまうそう。真剣に取り組むあまり、ぶつかることもあるそうですが、「文句を言いながらも最後まで一緒にやってくれるからこそ開催できるのだ。」と仲間にとっても感謝しているそうです。